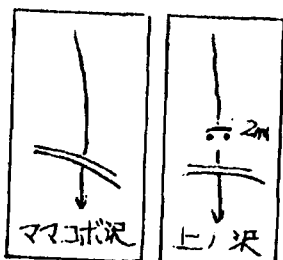


了(10:40)→尾根(11:10)



### ママコボ沢

1987年8月30日

L5

沢は出合からヤブがかぶっている。そして、5分も遊るともう水がなくなった。何も無い。すぐに終わりにして、引き返す。

(記・.....)

[タイム] 出合(7:30)→遊行終了(7:35)

### 上ノ沢

1987年8月30日

L5

出合より見える2mの滝を越すと、その先は完全にヤブの中である。今日は小さな沢ばかり遊っているが、これほど短く平凡な沢ばかりだとは、考えてもいなかった。ついていない。5分で遊行終了として、出合に戻る。

(記・.....)

[タイム] 出合(7:45)→遊行終了(7:50)

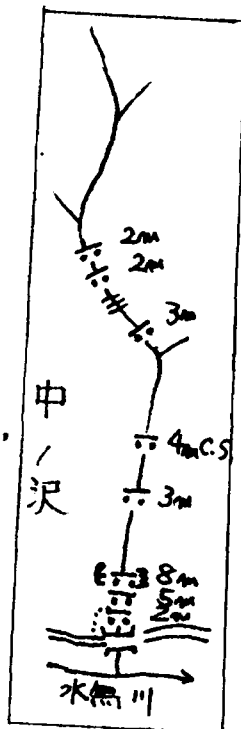
### 中ノ沢

1987年8月30日

L

林道から沢に入ると、すぐF<sub>1</sub> 5m。さらにすぐにF<sub>2</sub>に出合。鈴木君は右側を直登するが、私は自信をもてないので、左岸を捲く。F<sub>2</sub>を過ぎると、沢にヤブがかかってくる。F<sub>4</sub>は、見方によっては石づまり。この付近では、沢にそって踏跡が続いている。F<sub>5</sub>の手前の支沢は、比較的切れ込みが大きい。しかし、水量比では20:1というところか。

やぶをこぎながら進むと、水量比1:5の二俣となる。右俣に入るが、左俣、右俣ともこの二俣の先で伏流となってしまう



う。この先は、時々水が伏流になるなかを進む。8:20完全に水が濁れる。谷をつめ、8:45稜線に出る。

F.以外には、さしたる興味のない、やぶの多い小沢というのが、この沢の印象である。

(記・ )

[タイム] 出合(6:50)→稜線(8:45)

出合下沢 (仮社)

無名沢 (下降)

1987年8月30日

L

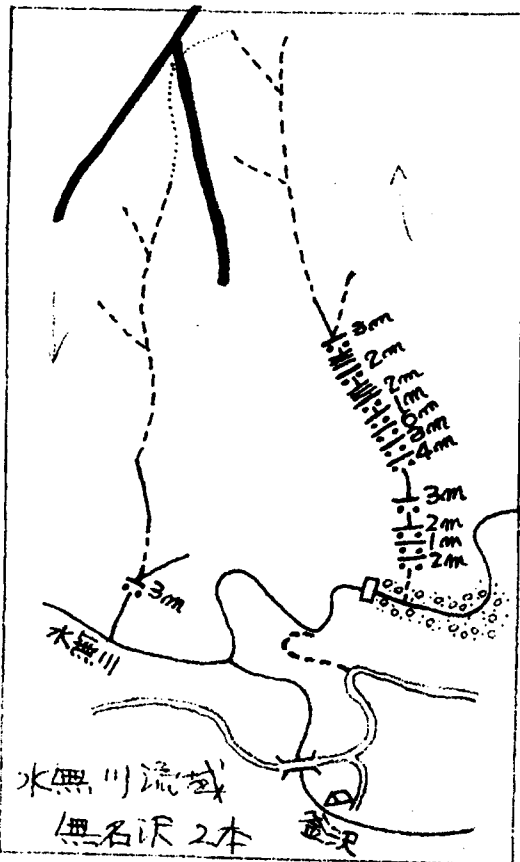
下降開始8:55。尾根から5分程のやぶこぎで沢に降り立つ。しかし沢は濁れて水は無く、大部分がやぶに覆われて、悪戦苦闘を強いられる。

下降を開始して30分、ようやく沢床に水が出てくるが、それでもやぶのひどさに変わりはない。沢が終わりになるころ、ようやく3mの滝が現れる。

左岸の岩の間から湧水がしたたり落ち、それを合わせて一定の水量となったところで、水無川の本流と合わさる。

(記・和泉 功)

[タイム] 下降開始(8:55)→沢(9:00)→水無川本流出合(10:05)



出合上沢 ~~仮社~~  
(仮社) 無名沢

1987年8月30日

L

昨日泊まった釜沢出合のテン場から、水無川本流ぞいの林道を歩いて、右カーブのところから水無川に降りる。砂防工事の時の作業道がブッシュにおおわれて残っていたので、それを利用する。地図に記されている砂防ダムの左岸を乗り越え、水無川は、広い河原となっている。目的の沢は、砂防ダムのすぐ上で右岸から合流するが、私達は見逃して先に進んでしまった。多少水無川を遡ったと